

平成27年度 第3回 美保飛行場周辺まちづくり計画検討委員会 議事録

日 時 平成27年12月22日（火）午後2時～午後4時

場 所 境港市民会館大会議室

出席者 【委員会委員】

丸田委員（委員長）、増谷委員、木村委員、池淵委員（副委員長）、安倍委員、足立委員、松本委員（欠席）、梅木委員、湯越委員、永井委員、角（俊一郎）委員、梶谷委員、角（勝子）委員

【オブザーバー】

中国四国防衛局企画部 周辺環境整備課（菅田課長）

中国四国防衛局企画部 周辺環境整備課（江口係長）

中国四国防衛局企画部 周辺環境整備課（早川係長）

中国四国防衛局 美保防衛事務所（笹岡所付係長）

航空自衛隊美保基地渉外室（森基地対策専門官）

美保通信所（板垣事業班長）

【事務局】

佐々木市民生活部長、藤川教育委員会事務局長、黒崎生涯学習課長、山田自治防災課長、手島自治防災課危機管理室長、園山都市整備課建築指導係長、浜田生涯学習課生涯学習係長、竹内生涯学習課文化体育係長、古徳教育総務課管理係長

【コンサルタント】

中日本建設コンサルタント株式会社（吉見、名知）

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 委員紹介

4. 報告事項

（1）第3回市民ワークショップの報告

・事務局 説明（資料1）

以下主な意見

- ・自衛隊の博物館にあるものをお借りして、年に1回でも展示できれば面白いと思う。（委員）
- ・地元放送局の開設というのがある。図書館の中に放送局があり地元の情報を発信するのいいと思う。（委員）
- ・自衛隊の方が、境港がとても住みやすいので、退職されて定住なさる方も結構いらっしゃる

やる。人口減少が、大きな課題になってくる中で、境港も積極的に、自衛隊の人が退職し定住されるときに何か助成ができるとういと思う。そういった市の行政としての自衛隊との交流というのを考えていってもいいのではないかと思う。(委員)

- ・盆踊り大会を竜ヶ山でやるかどうかというのがあり、竜ヶ山の周辺で住民たちも参加できれば、大変賑やかになるし、あったかい交流ができるのではないかと思い、大賛成である。(委員)
- ・これらの御意見を、ワークショップの報告とともに、この検討委員会の意見として、記録にとどめておくことにします。続きまして、今度は、協議事項ですので、皆さんで御議論したいと思います。(委員長)

5. 協議事項

(1) 交流拠点に必要な施設内容・規模・ゾーニングについて

・事務局 説明(資料2)

以下主な意見等

- ・会議室機能で大会議室の収納スペースを検討中だということであるが、可動式の収納スペースを移動させるのは本当に大変なことで、倉庫にそれを持っていくのに大変時間がかかる。可動式の仕切りも今後検討していただきたい。(委員)
 - ・現状でトイレの数が不足しているので、できるだけトイレの数は増やしていただきたい。防災拠点も兼ねるということであり、事務室に、災害対策本部機能を入れる話もあった。ホールも椅子が可動式になり、避難者の収容というのも可能になったと思う。あと、トイレもそうだが、何日かそこで過ごすということになるとシャワーもお願いできればと思う。その他、電源についても、ソーラーを考えていただければと思う。(委員)
 - ・この資料2の高齢者福祉機能の部分について、今後、包括支援センターを一元化したときに、大体15人ぐらいの職員数になるといわれており、それを、例えばここに入居するというようなことを考えてはどうか。そのため、機能訓練室、高齢者福祉機能のスペースは、できるだけ沢山ほしいと思っている。(委員)
 - ・ホールの中で、音響施設がどうなっているか聞きたい。楽屋についても、平米数で書いてあるがイメージがなかなかつかみにくい。また、大、中、小の会議室があるが、中央公民館はどこの会議室になるのか。その他、建物以外のスペースで広場的なものは、どうなるのか。(委員)
- 音響の関係について、反射板を考えています。楽屋については、複数の部屋を設ける考えですが、和室は難しいと思います。洋室は、間仕切りをつけて、大きく使えたり、分けて使えたりということを考えています。会議室において、中央公民館については中会議室のスペースが、中央公民館と展示室を合わせた規模で考えています。広場ということでエントランスとかロビーなどは、次回に示したいと思っています。(事務局)
- ・体育館について、現在の第2体育館など更衣室が狭いため配慮してほしい。シャワー施

設もあったほうがよい。(委員)

- 図書館について、書庫スペースが、10万冊が開架で、書庫スペース5万冊が開架となっているが、書庫スペースの確保をお願いしたい。それから、事務室も、本当に大事だと思っている。荷捌き室の配送スペースなども考えておかれたらいいと思っている。それから、会議室については、新しくできる大会議室にも舞台が必要か検討していく必要があると思う。中会議室は、中央公と展示室を合わせたものとあり、中央公民館という使い方がどうなるのか。いまの中央公民館は、使用料が要らない。そうすると、今回、この中会議室になると使用料が要るのかどうかということもある。使用料が要らない中央公民館がここにあるというのはとても助かるときもある。その辺のところ、費用を含めた使用方法をどう考えているのか。(委員)

→書庫については、まずはその図書の整理を、きちんとしていけなかなと思っています。ある程度、書架に余裕を持たした状態で、新しい図書館に入ってくるというイメージにしていただきたい。会議室のステージについては、新しい施設でもステージがついた状態を我々はイメージして考えています。中央公民館については、どういう運用の仕方の中会議室を利用していかかというのは、今後の検討課題です。(事務局)

- 文化ホールも市民会館も、楽屋の前の廊下の幅が狭い。もう少し広いほうが、大きな楽器などを入れやすいと思う。また、ピアノが運べる大きさのエレベーターがあるとよい。リハーサル室ができるということで、とてもいいと思っている。(委員)
- 全体的に、ホールは広くなり、座席数が少なくなるということで、ゆったりとした感じでしょうし、全体にはバランスよくしていただいて、とにかく使い勝手のいい動線を考えていただきたいということが一番の望みである。それで、図書館、ホール、管理室、それから、福祉関係のそれぞれのゾーニングが、どこへ行っても図書館が見えとか、人の動線が常に賑わっているように感じられるような配置を是非考えていただきたい。ホールも、現状では、ホールで何かしていなければ誰一人としてホールに近づく者がいないという状況である。やはり、そうではなくて、ロビーとか、ホワイエとか、そういうところも気軽に一つの市民の広場なり何なり、何か市民のために、交流のためにあるというようなことを常に意識させるような建物全体の構成を考えていただければということ非常に希望している。

それから、もう一つは、会議棟について、現在、例えば、保護司会などは部屋を一部屋使わせていただいているが、そういった例えば貸し部屋というか、料金を取って何かの団体なりに貸せるという小さな部屋は考えているのか。今、保護司会の部屋などは、その他大勢と一緒に部屋を共有するわけにはならない。どのように考えているのか。(委員)

→最後に具体的に出てきた保護司会の件については、検討課題ということで回答させていただきたい。

- 市民会館、会議室、図書館など、全ての施設が大きいほうがいいし、充実するほうがいいと思うが、限られた予算の中の身の丈に合った大きさが一番いいと思う。あと、交流

の拠点に置けるといところが一番メインのテーマだと思うので、自然と目に入るとか、会議室に行くまでに図書館の前を通ってしまうとか、何かそういうようなまい仕掛けがあると、より身近にいろいろな施設を見る機会になると思う。もう一つ気になったのが、駐車場もやはり必要な部分になってくると思いますので、そこもきちんと確保していただいて、市民が集う場所にしていただきたいと思う。(委員)

- ・トイレの割合として、女性用を多くしていただきたいと思う。どこに行っても女性の方が長く並んでおられるというのを見るので、特にその点をしっかりとってあげていただきたい。それと駐車場、全体の広場の関係、その辺のことで、これから設計ということだと思うが、やはり、現状で言わせていただくと、庭園は従来の土手があって樹木で道路と遮っているが、防犯上も問題があると思うので、そのスペースを考え直していただきたい。当然、緑が必要でないということではなく、エントランスとかいろんなところで緑の部分は残していただきたいと思う。(委員)

- ・今年の基本計画ということで、要は、形以外の事項を決める段階です。来年以降、何が始まるかと言うと、基本設計、実施設計を2年間かけて行います。この時点で何をするかと言うと、設計のプロの人が応募してくると思います。

今は、要は、今出してもらった提案をここの会の結論として、この程度の大きさ、ほぼこのくらいの機能を有するものが要望として挙げていたということ、決めていきたいと思えます。意見を伺ったところ、この程度の大きさのもので身の丈に合ったものを進めていけばよいという御意見でよろしいでしょうか。では、了解ということで、よろしくをお願いします。(委員長)

(2) 自衛隊員との交流促進の方策について

・事務局 説明(資料3)

以下主な意見

- ・境港で、この自衛隊の艦船の寄港は過去何件ぐらいか。(委員)
- 過去の実績はいま資料を持っておりませんが、一番最近では、平成24年の南極観測船しらせです。これは、海上自衛隊が運行されており、一般公開も行いました。(事務局)
- ・2年前に、舞鶴の海上自衛隊にお世話になっており、市のほうからも働きかけていただければ、寄港しやすくなると思う。(委員)
- ・竜ヶ山公園のエリアについて、体育館での交流促進の方策として、武道、スポーツとあるが、多分、普通の床ではなかなか難しい。今、市民体育館が使えない状態で、そういうクラブも苦慮しているようだ。ぜひ武道を考えた床にしていただきたいと思う。(委員)
- ・自衛隊との交流促進ということで、私たちが思った以上に、自衛隊員の方々がこれを実施していくに当たっては、大変な内容になっていくのではないかと思う。交流が深まるけれども、自衛隊側の負担について伺いたい。(委員)

→この提案内容は、市民ワークショップと自衛隊の4つの機関からの意見を参考に作成し

ています。この補助事業の採択要件に、自衛隊員と地域住民との交流というところがあるため、自衛隊の方にもたくさん出していただけるようお願いをしたところです。それで、こういう交流活動ができるような施設に整備していきたいと考えています。

全てを定期的に毎年行うのはなかなか難しいと思いますが、地域の自衛隊員との交流を深めていきながら、こういった活動ができるような機能を持った施設整備を行い、自衛隊とも協力しながら、交流を進めていきたいと考えています。(事務局)

- ・とてもお互い積極的な交流を考えているけれども、現在、交流している納涼祭とか、そういうのでも、市民は十分交流しているし、お互いちょっと力を出し合って楽しいものにしようという気持ちで触れ合っている、そういうもののちょっとした延長線に全てがあって、それに対してやりやすい施設ができれば、それを効率よく使用しながらさらに発展させていけるのではないかという、そういう施設を目指せばいいと思っている。

この図書館の特設コーナーなども、継続して自衛隊の皆さんの様子とか、歴史とか、現状とかを継続して知るといふ場所として、施設をつくるというようにことを思いながら進めていけば、市民も使いやすいし自衛隊の方との交流もまた密になると良いという希望を持っている。(委員)

- ・例えば、このレジュメの中に、3番目に、市民余芸大会、文化のつどい、サロンコンサートとあるが、どういうふうに依頼するとか、そういうことがわかれば何かできそうなという感じもする。(委員)
- ・青年会議所として、ボランティアの協力をさせていただいたり、自衛隊に御依頼をさせていただくことがある。しかし、通常、市民側は依頼の方法を理解をしていないと思う。みなと祭にも、実際、私たちが企画はしているけれども、軽音部も出ていただくし、パレードの中で踊りも踊っていただくこともある。それから、ボランティアも今年度は特に出させていただいており、35人ぐらいボランティア、ゲタ飛ばし大会のボランティアにも出ていただいている。そのときもお電話をさせていただくが、決まったところがあってお電話をさせていただくという流れがあるので、そのあたりをもっと市民が理解をするところも一つなのかなと思う。そのきっかけを何かこちら側でつくっていくといい関係がまた築いていけるのかなというふうに思う。(委員)
- ・図書館で自衛隊関係、防災関係の図書を展示するということがあるが、自衛隊のほうで、これぐらいの量の本の展示はお願いしますよというようなことがあるのか伺いたい。(委員)

→防衛局の方と協議する中で、やはり、そういう本をある程度この交流という視点から整備していきたいということで、以前、図書館協議会で話をさせてもらっているとおりです。具体的にこれだけという正確な数字があるわけではないではないですが、そういったものは必要であるというところが本質だということで御理解していただけないかと思っています。(事務局)

- ・ほかにございませんでしょうか。なければ、この説明のとおり、進めていきたいと思

ます。(委員長)

6. その他

- ・今後の日程

7. 閉会式